

5 医療機能に関する調査

(1) 目的

「指標」に基づくデータ収集では、既存データの制約で算出できなかった指標について、当該指標の入手可能性、入手したデータの信頼性、入手できたデータから把握できる新指標の検討を目的とする。

特に、地域連携についての指標は既存データからの把握が困難であり、医療機関を対象とした連携の状況の把握に焦点を絞った調査を実施する。

(2) 調査方法

全国の都道府県から協力の得られた 2 県（新潟県、愛知県）を選定し、当該域内に所在する病院（精神科単科を除く全数）及び一般診療所（産科、小児科、小児外科、形成外科、美容外科、精神科単科（またはそれらの組み合わせ）を除き、保健所、企業内診療所、健診センターのみの診療所等を除く全数）を調査の対象とした。

アンケート調査票を作成し、郵送配布・郵送回収により調査を行なった。県および厚生労働省からの調査協力依頼文を同封する（ただし愛知県は県の協力依頼文のみ）とともに、調査対象となった都道府県の医師会、病院団体等関連団体に事前に調査協力の呼びかけを依頼し、回収率の向上を図った。また、病院に対しては〆切日に督促状（リマインダー）を発送した。

調査期間中は、本調査専用の電話回線を設置して、都道府県への疑義照会に対応する体制を構築した。

回収率は、全体で 35.1%、病院では 41.7%、診療所では 34.1%であった。

図表 7 回収状況

有効発送数

| | 病院 | 診療所 | 合計 |
|-----|-----|------|------|
| 愛知県 | 344 | 4374 | 4718 |
| 新潟県 | 123 | 1500 | 1623 |
| 合計 | 422 | 5874 | 6296 |

回収件数

| | 病院 | 診療所 | 合計 |
|-----|-----|------|------|
| 愛知県 | 144 | 1345 | 1489 |
| 新潟県 | 76 | 660 | 736 |
| 合計 | 220 | 2005 | 2225 |

回収率

| | 病院 | 診療所 | 全体 |
|-----|------|------|------|
| 愛知県 | 41.9 | 30.7 | 31.6 |
| 新潟県 | 61.8 | 44.0 | 45.3 |
| 全体 | 41.7 | 34.1 | 35.1 |

(3) 調査項目

| |
|---|
| <p><病院票></p> <p>基本属性：開設主体、病床数、診療科、地域連携・診療情報管理体制 診療実績・体制：患者数（入院・外来、新規、退院、紹介別） がん診療体制：緩和ケア体制、化学療法の実績、病理診断医・放射線治療医の有無、地域連携パスの有無、患者数（入院・外来、新規、退院、紹介別）等 糖尿病診療体制：人工透析・教育入院への対応、患者数（入院・外来、新規、退院、紹介別）、合併症患者数等 救急医療体制：救急体制、救急患者の状況 へき地医療体制：医師派遣実績、紹介・返送患者の状況 小児医療・小児救急体制：救急体制・実績、患者数（入院・外来、新規、退院、紹介別）等 周産期医療体制：周産期医療体制、患者数（入院・外来、新規、退院、紹介別）等 医療療養病床：医療療養病床の有無、患者数（入院、退院、紹介別）等</p> <p><診療所票></p> <p>基本属性：開設主体、病床の有無、診療科 在宅診療実績：在宅療養支援診療所届出、在宅患者訪問診療料等の算定実績 患者数：（入院・外来、紹介、糖尿病または疑い患者）等 地域連携クリティカルパス：有無、対象疾患、適用患者数</p> |
|---|

(4) 調査結果

調査結果は巻末の参考資料に取りまとめており、そちらを参照されたい。

(5) 連携に関する指標の検討

4 疾病 5 事業のそれぞれにおいて、連携に関する指標として考えられる指標案を構成し、その適切性について妥当性（連携の概念を正しく構成しているか）およびデータの取得可能性（有効回答率が一定割合以上かどうか）などの観点から評価を行った。評価結果は◎：指標として活用できる、○：指標の候補となりうる、△：指標に活用するには一部課題がある、×：指標には適していないの4段階で表中に表示した。

なお、有効回答率については、今後必要であれば医療機関に対して当該データの取得を依頼することなども考慮して、今回の調査で概ね3割以上であれば将来的にはデータの取得が可能であるものと判断した。

ア) 病院全体（表中の数値は該当するサンプル n=220 の結果）

| 連携に関する 指標案 | 定義 | 有効 回答率 | 平均値 | 標準 偏差 | 評価 | 備考 |
|---------------|---|-----------|-------|----------|----|--------------------------------------|
| 紹介率（受）① | (他医療機関から紹介された実患者数+救急車により搬送された患者数) / (新規外来実患者数) | 81.8% | 40.26 | 94.52 | ○ | 診療報酬における紹介率の概念に合致する。救急患者を含めるべきかどうか |
| 紹介率（受）② | (他医療機関から紹介された実患者数+救急車により搬送された患者数) / (新規外来実患者数+新規入院実患者数) | 81.4% | 22.88 | 25.52 | ○ | 救急患者を含めるべきかどうか。 |
| 紹介率（受）③ | (他医療機関から紹介された実患者数) / (新規外来実患者数) | 86.4% | 33.28 | 92.10 | ◎ | 連携の指標になりうるのではないか |
| 紹介率（受）④ | (他医療機関から紹介された実患者数) / (新規外来実患者数+新規入院実患者数) | 85.9% | 18.10 | 23.78 | ○ | |
| 紹介率（出） | (他医療機関への紹介実患者数) / (退院実患者数) | 87.7% | 77.82 | 71.68 | △ | 分子には外来の紹介患者も含まれているが、分母にあたる外来患者の把握は困難 |

イ) がん (表中の数値は該当するサンプル n=90 の結果)

| 連携に関する 指標案 | 定義 | 有効 回答率 | 平均値 | 標準 偏差 | 評価 | 備考 |
|------------------|--|-----------|-------|----------|----|--------------------------------------|
| 紹介率 (受) ① | (他院からのがんの紹介実患者数) / (がんの新規外来実患者数) | 57.8% | 68.58 | 74.34 | ◎ | 一次→二次、二次→三次の連携の指標になりうるのではないか |
| 紹介率 (受) ② | (他院からのがんの紹介実患者数) / (がんの新規外来実患者数+がんの新規入院実患者数) | 58.9% | 32.17 | 34.12 | ○ | |
| 紹介率 (診療 所から受) | (診療所からのがんの紹介実患者数) / (他院からのがんの紹介実患者数) | 51.1% | 59.43 | 30.95 | ◎ | 病診連携の指標になりうるのではないか |
| 紹介率 (病院 から受) | (病院からのがんの紹介実患者数) / (他院からのがんの紹介実患者数) | 51.1% | 43.25 | 30.83 | ◎ | 病病連携の指標になりうるのではないか |
| 紹介患者入院 率 | (紹介患者のうち入院したがんの実患者数) / (他院からのがんの紹介実患者数) | 55.6% | 38.55 | 28.75 | ○ | |
| 退院患者在宅 復帰率 | (がん退院患者のうち転帰が自宅) / (がんの退院実患者数) | 64.4% | 64.29 | 26.53 | ○ | |
| 紹介率 (出) | (他院へ紹介したがん実患者数 (入院+外来)) / (がんの退院実患者数) | 60.0% | 45.89 | 46.59 | △ | 分子には外来の紹介患者も含まれているが、分母にあたる外来患者の把握は困難 |
| 紹介率 (診療 所へ出) | (診療所へ紹介したがん実患者数 (入院+外来)) / (他院へ紹介したがんの実患者数 (入院+外来)) | 50.0% | 32.79 | 26.78 | ◎ | 病診連携の指標になりうるのではないか |
| 紹介率 (病院 へ出) | (病院へ紹介したがん実患者数 (入院+外来)) / (他院へ紹介したがんの退院実患者数 (入院+外来)) | 53.3% | 67.21 | 28.03 | ◎ | 病病連携の指標になりうるのではないか |

ウ) 脳卒中

➤ 急性期 (表中の数値は該当するサンプル n=98 の結果)

| 連携に関する指標案 | 定義 | 有効回答率 | 平均値 | 標準偏差 | 評価 | 備考 |
|-----------------|--|-------|--------|--------|----|---|
| 救急入院率① | (脳卒中の救急実患者数) / (脳卒中の入院実患者数) | 78.6% | 64.98 | 73.61 | △ | 病院の機能は反映しているが、地域の連携を表す指標にはなりにくい 救急患者のうち、死亡や入院しないケースもあるものと考えられる |
| 救急入院率② | (脳卒中の救急実患者数) / (脳卒中の新規入院実患者数) | 74.5% | 128.07 | 220.99 | × | 救急患者のうち、死亡や入院しないケースもあるものと考えられる |
| 退院患者在宅復帰率 | (脳卒中退院患者のうち転帰が自宅) / (脳卒中退院実患者数) | 63.3% | 50.34 | 29.01 | ○ | |
| 退院患者紹介率 | (他院へ紹介した脳卒中退院実患者総数) / (脳卒中退院実患者数) | 68.4% | 43.31 | 46.19 | ◎ | 脳卒中の急性期→回復期・療養期の連携の指標になりうるのではないか |
| 退院患者紹介率 (診療所へ出) | (診療所へ紹介した脳卒中退院実患者数) / (他院へ紹介した脳卒中退院実患者数) | 51.0% | 35.99 | 29.08 | ○ | 病院へ出と併せてみる やや有効回答率低い |
| 退院患者紹介率 (病院へ出) | (病院へ紹介した脳卒中退院実患者数) / (他院へ紹介した脳卒中退院実患者数) | 50.0% | 62.74 | 30.19 | ○ | 診療所へ出と併せてみる やや有効回答率低い |